

海外水産開発割当て 記入例：平成 30 年度「すけそうだら」

別紙様式 2 ■過去に輸入割当てを使って輸入通関した実績あり、■今年度 1 回目の申請の場合

水産庁長官 殿

申請年月日 平成 30 年 5 月 28 日
 申請者名 株式会社 AA 印
 住 所 東京都…
 電話番号 03-…

過年度の輸入割当てによる輸入通関実績等の報告

平成 30 年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給要領（平成 30 年 4 月 19 日付け 30 水漁第 8 号水産庁長官）に基づく認定書発給申請に当たり、要領の 2（1）①を申請するため、数量決定の根拠となる、平成 16 年度以降の本要領と同一の品目の輸入発表に基づく需要者割当て、漁業者割当て又は海外水産開発割当てによる輸入通関実績の合計及びこれより計算される申請限度数量を下記のとおり報告します。

“割当年度”とは、その輸入割当てが何年度の輸入発表で公表されたものか、ということ。「〇年度（4 月～翌年 3 月）中に使用した全ての輸入割当て」という意味ではないので注意する。

記

- 1 過年度の輸入割当てによる輸入通関実績
 (1) 割当年度
 平成 27 年度

■株式会社 AA の過年度（過去）の輸入通関実績
 平成 27 年度 需要者割当てによる通関実績：10,000MT
 平成 27 年度 海外水産開発割当てによる通関実績：10,000MT
平成 27 年度割当てによる通関実績の合計：20,000MT

- (2) 輸入通関数量（原魚換算数量）
 （すけそうだらをすり身で輸入する場合は、すり身重量に 5 を乗じた数量が原魚換算数量となる。）

割当方式	輸入割当て証明書番号	輸入通関数量（MT）
需要者割当て	AP-(AE)----	10,000
海外水産開発割当て	AP-(AE)----	5,000
海外水産開発割当て	AP-(AE)----	5,000
割当て		
割当て		
割当て		
割当て		
割当て		
合計		20,000

- 2 申請限度数量
 （「1 過年度の輸入割当てによる輸入通関実績」の合計に 1.2 を乗じた数量を記入する。）

$20,000\text{MT} \times 1.2 = 24,000\text{MT}$

別紙様式 1 認定書発給申請書の「1 今回の申請数量」の「■申請 1 回目」の「要領の 2（1）①に該当の「申請限度数量」欄に記入する。